

会議録

| | |
|----------|--|
| 会議名 | 平成30年度 第1回 生涯学習政策課審議会 |
| 日時 | 平成30年7月10日(火) 午後7時00分～ |
| 場所 | 八王子市生涯学習センター 10階第2会議室 |
| 出席者氏名 | 委員 三浦真一、岡本夢乃、碓井恵夫、小倉艶子、加藤方浩、小林正博、丹間康仁、永村隆、炭谷晃男、石川智子、村上ひろみ |
| | 説明者 杉山生涯学習政策課主査 成田川口図書館長 安達南大沢図書館 |
| | 事務局 岡本生涯学習政策課長 浅岡学習支援課長 太田中央図書館長 新納生涯学習センター図書館長 成田川口図書館長 安達南大沢図書館長 高木生涯学習政策課主査 塩澤生涯学習政策課主査 杉山生涯学習政策課主査 鎌田生涯学習政策課主任 |
| 欠席者氏名 | 浅井 揚三・守屋 和広 |
| 議題 | <p>【議案】 平成29年度八王子市生涯学習関連事業評価について</p> <p>【報告事項】 (1)八王子市恩方市民センター図書館の開館及び分室の名称変更について (2)新図書館システムの利用状況について (3)中央大学文学部と八王子市図書館部による6月29日開催の共同研究報告会について (4)「としょかんこどもまつり」の実施状況について (5)八王子市図書館における平成30年度「夏のイベント」の実施について (6)感想画・感想文コンクール台湾派遣報告について (7)第14回読書感想画・第7回読書感想文コンクールの開催について (8)都市社連協関連 報告事項について (9)教育委員会定例会における関連事項について</p> |
| 公開・非公開の別 | 「公開」 |
| 非公開理由 | |
| 傍聴人の数 | 「なし」 |
| 配付資料名 | |

議案案件 平成 29 年度八王子市生涯学習関連事業評価について

【事務局】 関連事業評価について、生涯学習に関する施策及び事業の評価を本会で行っていただくことになっており、今日と次回の 2 回に渡りまして評価をお願いしたい。

各所管課の生涯学習に関連した事業 468 件の総合的な評価を構成・事業の実施結果について、AとBを合わせて90%程度ということになっている。

B評価の理由については、事業の未実施によるもので、その理由については天候などによるものが多い。

また、Cの 37 件についても、大多数は目標指標が参加者数としているもので、参加者数とその目標に達していなかったことがこの C 評価の理由となっている。

次に基本施策 4 つございますが、4 つごと、基本施策ごとの、関連事業の評価ということで 簡単にご説明したい。まず、基本施策 1 「子どもの頃から始める学びの基礎づくり」ということで、施策の展開のまず「①生きる力を育む子どもの学びと体験の充実」は、主な取り組みとしては、こども科学館が、去年の 7 月リニューアルオープンをして、入場者が大幅に増え、延べ 5 万人、6 万人以上ということである。事業については、体験を主な事業としているものが多数見られる。続いて、家庭教育の支援はブックスタートや三歳児検診での読み聞かせなどの、読書に親しむ機会の提供ということが挙げられている。続いて、学校教育活動の支援で、学校支援事務局の全校配置を平成 29 年度から全校で実施を拡大している。4 番の「地域の教育力を生かし、高める」ということについては、放課後こども教室ということで、実施校 3 校増やして、64 校で実施し、内容的なものは、地域や学校、学童との連携を図り、プログラムの拡大・拡充となった次第である。また、保健福祉センターで行なっている妊婦の歯科検診や子供の歯科検診、主に家庭教育の支援に位置付けられるものであるが、こちらが 26 件あり、若干他の基本施策よりは市単独事業では多くなっているという状況である。次に「基本施策 2 誰もがいつでもどこでも学べる仕組みづくり」という施策の展開であるが、学習機会の提供ということでは、八王子学園都市大学で、市民ニーズに合う講座の提供や、講座タイトルの変更等で、目標値を上回る受講生があった。読書のまち八王子の推進ということでは、図書館まつりや地区図書室、読み聞かせの事業やお話会等があった。八王子の特徴としては、文化芸術の振興ということで、八王子夢美術館での市民に身近な場所での優れた芸術鑑賞の機会の提供、ということを中心とした取り組みとして挙げられている。生涯学習スポーツ・レクリエーションの推進については、各地

のテニス大会、テニススクールで、1,000名以上の大会への参加とか、スクールへの参加があった。高齢者の生きがいづくりについては、シニアボランティアによるパソコンの教室で、高齢者や障害者の生きがいづくりの向上ということで繋がっている。協同参画・共生社会の実現ということについては、障害者向けの囲碁教室の参加者の大幅な増加ということを挙げている。基本施策3では「学習成果を活かし、市民がつながる生涯学習の推進」ということで、施策の展開としては3個挙げている。1つ目の「人材の育成と活躍の場の提供」については、八王子城跡のガイドボランティアについては、「郷土資料館で実施しているガイドボランティア」ということで、市民との協同による史跡の発表や、ボランティアの養成といったものを行っている。続いて「学びの成果を活かす機会の充実」ということでは、学生天国とか陸上選手権大会での取り組みが挙げられている。「市民との協働による地域の活性化」は、大きなイベントとして、八王子まつり、環境フェスティバルがあった。この基本施策3は、市民が繋がるということがあって、事業の実施形態が8割近くが自宅であったり、共催実行委員といった市との協同による事業の展開ということで、かなりシェアを占めている。基本施策4「生涯学習実施環境の充実」は、3つの施策展開となる。まず、①の「生涯学習情報の収集と発信」について、「はちおうじの教育」という広報に折り込んでいる年4回発行している紙媒体による広報誌のほか、学校フォトニュースであったり、八王子こどもニュースであったりSNSなど紙面に捉われない広報活動などを行った。相談体制の充実、拡充ということについては、学習情報プラザは生涯学習センター1階のブースであるが、イベント等の生涯学習情報を2,000件以上、情報提供を行っているところである。「施設の有効活用と開放」ということでは、生涯学習センターを紹介するが、空いた学習室の利用で学生にフリースペースとして提供している。年間通じての実施で、述べ9,700人の利用があった。

今後については、まず、今日いただいた意見を、生涯学習審議会の評価ということで、次回の審議会までにまとめさせていただきたい。次回の審議会でも内容の足りない部分を補充していただいて、それをまとめたものを9月ごろ公開ということで、最後、実施評価ということで公開したい。

【会長】本日の討議では、審議会全体としての評価に関し、大まかな方向性を定め、これを踏まえ事務局に次回の会議で評価の文案を示していただく。最終的に皆様方のご判断を仰ぎたいという形になろうかと思う。それでは、議事案件資料1-1、八王子市生涯学習プラン平成27年度から31年度、こちらの資料を基にご議論をいただきたい。ご意見のある方は挙手を願いたい。

【委員】プラネタリウムのこと書かれているが、プラネタリウムこども科学館26年3月までは大規模改修で休館し、とある。休館し、そし

てリニューアルオープンしたために増加したというような書き方になっているが、私が思うには、休館したが、リニューアルしたために増えたということではないかなと思う。というのは、これは 10 のシートに、「星空コンサート」とあり、工事をしたために、回数も減って人数も少なくなった。だから評価は C である、と書かれている。ということは、工事というものは影響があったとすれば、これは休館し、じゃなくて、休館したけれども、あるいは、その影響を受けた、影響を受けた事業もあるけれども、この場合のプラネタリウムの放映については、増加が見込まれたとなるんじゃないかと思う。

【事務局】修正を行う。

【委員】夏休み子どもいちょう塾で、子ども方法が往復はがきから Web 申し込みに変更したとあるが、これはこの夏休みの子どもいちょう塾だけなのか？他の所ではこの Web の申込っているのはどうか？

【委員】往復はがきは面倒とご意見として出ていたので、それは画期的だと思う。全部これにさせていただけると大変ありがたい。

【会長】そういう考え方も、評価の中に取り入れていただければよろしいということいいか。現状の段階ではまだやってないわけですから。

【生涯学習施策課長】ご意見は参考にさせていただきます。

【委員】基本施策 1 としての「子どもの頃から始める学びの基礎づくり」は八王子市が大事にしている特徴かなと思っていて、どうしても「生涯学習」というと、学校を終えてから、大人になってからってところで考えることが多いが、それをもう子どもの頃から始めようっていうのは 1 つ大事な特徴だと思っている。そういう意味では、それを、学校との連携の中で進めていたりとか、あと放課後に関しても家庭との繋がりがりだとか、学校、家庭それから地域の連携の中でこの学びの基礎づくりをしていることを評価している。

【会長】基本施策の 2 「誰もがどこでも学べる仕組みづくり」でございしますが、これにつきましては 6 項目ございます。その上の施策の方向性と現状と課題につきましては引き延ばしてご覧をいただきまして、ご意見をいただきたい。

【会長】市長部局、あるいは外郭団体で活動しているものもこの中に随分入っているが。

【生涯学習施策課長】市民活動推進部ですとかあるいは文化ふれあい財団。

【会長】続きまして、基本施策の 3 「学習成果を活かし市民が繋がる生涯学習の推進」ということで施策の方向性と現状と課題として、展開としましては、3 つ、3 項目挙げられていますが、これにつきましてはいかがか。

【会長】これはどちらかと言うと、市が単独というよりも市民の方やあるいは市民団体、あるいは実行委員会という形で、市民の方にご参画い

ただいたことが圧倒的に多かったと。

【生涯学習施策課長】はい。

【会長】これが1つ大きな特徴でしょうし、さらにこの方向性を進めていただくことによって、市民の地域社会の活動に対する参加意識、こういったものが芽生えていくということの方向性というものを示していく必要があるんじゃないでしょうか。

【生涯学習施策課長】生涯学習プランでは「学ぶ・生かす・つながる」というという部分で、今会長からご意見いただきました部分について、「つながる」という部分で、市民の方と協同して進められるという部分を評価していただけると非常にありがたいと考えている。

【会長】他にご意見があるか。

【委員】例えば回数 15 回で、300 だったら 1 回 20 人位とか、そういう所謂目標値は統一されているのか。

【生涯学習施策課長】延べ人数にしてしまうと、回数もバラバラで、参加人数もバラバラなので、集計としては確かに分かりづらいので、もうちょっと事業所管と調整して統一した指標になるように工夫をする。

【会長】他にご意見はあるか。さらに市民がつながる生涯学習の推進のために、生涯学習審議会としていろいろあげられることがありがたいと思う。

【委員】施設の有効活用の中に、これが残されている、まだ継続しているということに私は大賛成なので、よかったなという評価である。今後も是非継続して欲しい。こういうフリースペースというのは、勝手に受験参考書なんかを持ち込んでするものではない、図書館なら図書館の本を借りてやるのが建前だと、このようなことでフリースペースに勝手に子どもを入れないということもあるように伺っている。そういう意味では八王子がこういう意味で若い世代に、まあ若い世代だけにではないが、学習場所を提供するのはいいことだなと思う。

【川口図書館長】フリースペースについては、拡充の方向で検討している。

【会長】他にご意見はあるか。特に学校関係。

【委員】家庭科で 5 年生がお茶を入れるという授業をやったときに、すごい子どもが感動して、「これおいしいですね、これ何ですか？」って。急須知らない。だから、日本人として、持続可能な観点って大事ではないか。そういう視点の部分も生涯学習として入れていった方が良くはないか。

【委員】現場では、いつも驚かされたり、家庭教育が大事なのだと。子どもの頃から全部つながっている。

【委員】子ども達と花火をした時、子ども達はマッチとか全然知らないどころか IH が多いから、火が熱いってことを知らない。小学校入学前のお子さんが、花火が綺麗だから触って火傷とかもある。科学の進歩が

追いついていないこともあるが、自分の基準じゃなくて、本当に新しい子どもたちの生活を本当に考えないと。

【生涯学習施策課長】 昨年度、子どもの生活実態調査で、小学校 5 年生と中学校 2 年生にアンケートを取って、体験がかなり不足しているという結果が出てきている。今後市全体としても、子どもたちに体験させる幅が、作っていく方向となるので、皆さんのご意見を参考にしながら施策の方に反映していきたい。

【会長】大きな柱として、体験をしてもらうということが、出てくるかも。携帯の中だけじゃなくて、実体験をしてもらうという非常に大きな課題になってくる。続きまして、事務局からの報告事項・連絡事項がございます。まず、図書館の方からですか。図書館の「(1) 八王子市恩方市民センター図書館の開館及び分室の名称変更について」から順次お願いをしたいと思います。

【川口図書館長】平成 30 年 6 月 1 日から八王子市中央図書館北野分室、八王子市中央図書館みなみ野分室の名称変更及び 30 年 10 月 1 日に開館予定である八王子市、八王子市恩方市民センター図書館について、報告をさせていただきます。

【会長】続いて、「(2) 新図書館システムの利用状況」について、図書館からお願いします。

【生涯学習センター図書館長】平成 30 年の 4 月 2 日から新図書館システムが稼働して、マイナンバーカードと図書館利用者カードの連携や、電子書籍サービスの利用を新たに開始したところである。中の～からは、わざわざ足を運ばなくても図書館の本を借りることができ、読書を楽しむ「いつでも、どこでも、だれにでも」という読書環境を整えることができたと考えている。

【会長】続いて「(3) 中央大学文学部と八王子市図書館部による 6 月 29 日開催の共同研究報告会について」

【南大沢図書館長】南大沢図書館の中央大学との共同研究国会の実施について、報告する。昨年の 7 月に中央大学と図書館部では、協定書を結んで共同研究を、読書のまち八王子を進めていこうということをやっている 1 年が経ったので、その研究成果について、報告会があった。報告①利用者満足度調査の意義と調査項目について②図書館利用実態調査に関して③読書感想文コンクール作品の分析についてである。中央大学との共同研究は引き続き、また延長して行うことに合意いたしましてまた 1 年間さらに続けていく。

6. 閉 会

上会議録は事実に相違するところがないことを認め、下に署名する。

| | |
|--|------------------------------------|
| | 八王子市生涯学習審議会会長 八王子市生涯学習審議会委員 |
| | |